

第46回番組審議会の審議結果について

1. 開催年月日 令和元年8月6日（火） 11時～
2. 開催場所 (株) ケーブルメディア四国 会議室
3. 出席委員 (6名 出席)

灘波	順一	委員長
加藤	昭彦	副委員長
北川	つき子	委員
長谷	有美	委員
合田	浩平	委員（合田恵梨子氏代理）
国東	宣之	委員（新任）
4. 会社側出席者

藤綱	郁夫	（取締役社長）
伊勢	達哉	（放送部長）
天雲	光紀	（放送部編成制作課課長）

5. 審議結果

(1) 議案の自主制作番組 ①「長炭会の炭作り～炭も作ったらどいや～」について担当者より番組制作の意図などを説明した後、番組を視聴して頂いた。各委員からの主な意見は次のとおり。

<主な意見>

①「長炭会の炭作り～炭も作ったらどいや～」

- ・惹きつけられるタイトルや、番組の流れもよく、見ていて引き込まれる良い番組であった。
- ・番組制作のきっかけ紹介に、過去の番組のVTRを使用しているのが、連続性がありよかった。
- ・珍しい番組だと思ったが、コンセプトを聞いて納得した。
- ・炭作りの過程が丁寧に描かれており、大変な作業もある中で、人と人が楽しくやっている姿が上手く撮れていた。
- ・地域で男性が活躍していることが珍しい中、そこにスポットを当てているのが良い。
- ・地域を支えている年配の方の活躍の場が地域にあるのは良いし、その実情（元気・前向き・イキイキ）が見られて知らない事が学べる番組であった。
- ・映像ではわからない内容を、ナレーションで上手く補完できていた。
- ・出演者の讃岐弁（方言）が良かった。
- ・自主制作番組にドキュメンタリーがあるのは知らなかったが、西植田の地域の良さが伝わり、良いPRになる
- ・レギュラー番組「コミねっとTV」からの繋がりも良いので、他地域（塩江の竹炭など）も取り上げてシリーズ化してほしい。地域の励みになる。
- ・見ている人が地域コミュニティについて考えさせられる良い番組となっていた。
- ・ワイワイ楽しくやっているシーンがもう少し欲しい。
- ・画面が揺れているのが気になった。
- ・今回の番組にもあるように、地域の子供たちが体験している様子などが入った番組を増やしてほしい。

(2) 大西委員の退任に伴い、番組審議会規定「第3条2項」に基づき人選を行っていたが、新しく国東宣之氏に番組審議委員を委嘱することとした。

議案 自主制作番組①

番組タイトル	長炭会の炭作り～炭も作ったらどいや～
放送期間・番組尺	2019年2月16日～28日 30分
番組コンセプト	<p>問題提起などの少し重いネタではなく、地域の日常と風景、がんばるお年寄り、そしてその人たちが発する純粋な方言がテレビから流れることでコミュニティチャンネルの番組に親しみを持ってもらう事を意識した。また地域の方々への恩返しの意味も込めて特番として制作した。</p> <p>趣味で始めた活動でも継続することで地域コミュニケーションの場へと成長する事例としての紹介というテーマも忍ばせた。</p> <p>また、現地の空気感を大切に、画面に集中してもらうため、スーパーや音楽を極力入れない作りにした。</p>
番組内容	<p>西植田町の長炭会（ちょうたんかい）で行われている炭作りが、100回を迎えた。平成17年に「自分たちが焼肉をするのに炭も作ってしまうか!」という冗談のようなキッカケで始まった炭作り。原木の伐採で急斜面を昇ったり、1本60キロ以上あるような木を何本も運んだり、体力の必要な作業を苦にせずやり続ける姿。</p> <p>平均年齢74歳のおじいちゃんたちが、なぜこんなにも続ける事ができたのか？そんな長炭会のみなんさんが炭を作る工程と、100回も続けてきたその想いをお伝えする特別番組。</p>
出演者	長炭会の方々
プロモーション	チャンネルガイド・HP・フェイスブック
今後の動き	民放が扱わないようなネタ、地域に特化したネタを特番として掘り下げ、紹介することで様々な方に喜んでもらえるようドキュメンタリーの制作を継続する。